

受付印	家事 <b>審判</b> <b>調停</b> 申立書 事件名( <b>遺留分減殺請求</b> )
収入印紙 円	この欄に収入印紙1, 200円分をはる。  印紙  (はった印紙に押印しないでください。)
予納郵便切手 円	

準口頭	関連事件番号 平成 年(家 )第 号
-----	--------------------

東京 家庭裁判所 御中 平成 〇 年 〇 月 〇 日	申立人(又は法定代理人など)の署名押印又は記名押印 <b>甲 野 一 郎</b> (印)
----------------------------------	---

添付書類	申立人の戸籍謄本(全部事項証明書) 通 被相続人の戸籍謄本 通 遺言書の写し等	相手方の戸籍謄本(全部事項証明書) 通 物件目録 通 不動産登記簿謄本 通
※このほかの資料の提出をお願いすることがあります。		

申 立 人	本籍	〇〇 都 道 府 県 〇〇市〇〇町〇番地
	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇〇 ( 〇〇〇 ) 〇〇〇〇 東京都〇〇区×××〇丁目〇番〇号 〇〇マンション〇〇〇号 (方)
	連絡先	〒 - 電話 ( ) (注:住所で確実に連絡できるときは記入しないでください。)
	フリガナ 氏名	コウノ イチロウ 大正 昭 〇 年 〇 月 〇 日生 <b>甲 野 一 郎</b> (印) 平成
	職業	<b>会 社 員</b>
※ 相 手 方	本籍	〇〇 都 道 府 県 〇〇市〇〇町〇番地
	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇〇 ( 〇〇〇 ) 〇〇〇〇 東京都〇〇区×××〇丁目〇番〇号 (方)
	連絡先	〒 - 電話 ( ) (注:住所で確実に連絡できるときは記入しないでください。)
	フリガナ 氏名	テイムラ ウメコ 大正 昭 〇 年 〇 月 〇 日生 <b>丁 村 梅 子</b> (印) 平成
	職業	<b>無 職</b>

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分には、申立人、相手方、法定代理人、事件本人又は利害関係人の区別を記入してください。

当 事 者 等 目 録

相手方	本籍	〇〇都道府県 〇〇市〇〇町〇丁目〇番地	
	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇〇 ( 〇〇〇 ) 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇〇号 〇〇ハイツ〇号室 (方)	
	連絡先	〒 同 上 電話 ( ) (方)	
	フリガナ氏名	オツカワ ハルコ 乙 川 春 子	大正 昭和 〇 年 〇 月 〇 日生 平成
	職業備考	なし	被相続人の続柄 二 女

※ 当事者が複数の場合には、当事者目録に、申立人、相手方等の別と所用の事項を記載してください。

申 立 て の 趣 旨
<p>相手方は、申立人に対し、相手方が被相続人甲野太郎から遺贈を受けた別紙物件目録記載の土地及び建物につき、その時価の2分の1に相当する物件を返還するとの調停を求めます。</p>
申 立 て の 実 情
<p>1 被相続人甲野太郎（本籍〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地）は、その配偶者花子死亡後の平成〇年ころから相手方と同棲し内縁関係にありましたが、平成〇年〇月〇日に相手方の住所において死亡し、相続が開始しました。相続人は、被相続人の長男である申立人だけです。</p> <p>2 被相続人は、別紙物件目録記載の土地、建物を相手方に遺贈する旨の平成〇年〇月〇日付け自筆証書による遺言書（平成〇年〇月〇日検認済み）を作成しており、相手方は、この遺言に基づき、平成〇年〇月〇日付け遺贈を原因とする所有権移転登記手続をしています。</p> <p>3 被相続人の遺産は、別紙の物件目録記載の不動産だけであり、他に遺産及び負債はありません。また、前記遺言の他に遺贈や生前贈与をした事実もありません。</p> <p>4 申立人は、相手方に対し、前記遺贈が申立人の遺留分を侵害するものであることから、遺産の2分の1に相当する物件の返還を求めましたが、相手方は話合いに応じようとしないので、申立ての趣旨のとおり調停を求めます。</p>

(注) 太枠の中だけ記入してください。

物 件 目 録 (建 物)

番 号	所 在	家 屋 番 号	種 類	構 造	床 面 積	備 考
1	〇〇市〇〇町〇丁目 〇番地	〇番〇	居 宅	木造かわ らぶき平 家建	平方メートル 90 00	

物 件 目 録 (土 地)

番 号	所 在	地 番	地 目	面 積	備 考
1	〇〇市〇〇町〇丁目	番 〇 〇	宅 地	平方メートル 150	

遺 産 目 録 (現金, 預・貯金, 株券等)

番 号	品 目	単 位	数 量 (金 額)	備 考